

# シンガポールと熊本の環境対策比較



2年生3名

## 1. 仮説

シンガポールと熊本は同じ環境対策をしているのではないかと。



## 2. 検証方法

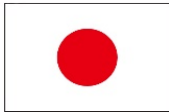
インターネットを使って、シンガポールと熊本の環境方針と対策方法について調べる。

プラスチックごみを減らす



自然や動物の命を**守る、助ける**ことができる。

## 3. 仮説の検証



### 1, 美化運動

～シンガポール～

- ・清潔の維持
- ・公衆トイレの清潔の維持
- ・3R
- ・10分間の掃除
- ・節水
- ・環境にやさしい交通
- ・庭と水が価値を上げる街
- ・エネルギーの効率的利用
- ・植生

～熊本～

- ・美化意識の高揚
- ・散乱ごみ対策
- ・緑の保全及び緑化の推進  
(市街地及び周辺における  
緑化の推進、緑化に関する  
基本計画の策定等)
- ・美しいまちなみづくり  
(都市景観の創出、屋外広  
告物の表示の適正化)
- ・推進体制の確立

1969年  
「クリーン・アンド・グリーン・  
シンガポール」

昭和58年7月14日  
「環境美化に関する基本方針」

### 2, シンガポールのごみのルール

- ・リサイクルごみの量  
1970年(1260t)  
2014年(8330t)

- ・有料なごみ  
HDB(公団住宅)…約660円  
コンドミニウム(マンション)…管理費に含む  
一軒家…約2190円

- ・リサイクルごみ  
ガラス瓶、紙、プラスチック、缶



リサイクルボックスへ



## 4. 問題点

- 1、ゴミの量が増え続けている。
- 2、ゴミの処分に多額の費用がかかる。

## 5. 改善策の提案

- ・カート缶などの紙製品を利用する機会を増やす。
- ・ごみの排出量を削減する。  
リサイクルをする。



## 6. 結論

- ・シンガポールは熊本とは違う対策をしていた。
- ・NEA が中心となり、リサイクルを薦めていた。
- ・熊本は環境美化に関する基本方針を定めていた。

## 参考文献

- ・シンガポールの環境
- ・資源リサイクル促進センター